

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		防災事業				②事業番号		6301	
③事業類型		7. 負担金・補助金事業				④開始年度		年度	
⑤終了予定年度		年度				○ 設定なし			
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱	
⑦実施手法		直営		全部委託		一部委託		○ 補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		7		項		3	
⑨担当部名		上下水道部		⑩担当課名		下水道整備課			
⑪計画等		○ その他		法令等の名称		大阪府砂防協会会則			
⑫その他		直営		全部委託		一部委託		○ 補助・負担	
⑬関係予算科目コード		目		1		細目		1	
⑭会計		一般会計							

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 大阪府砂防協会		① 会員数		団体	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
砂防、地すべり防止及び急傾斜地崩壊防止に関する方策を考究するとともに、これら対策事業等の促進を図り、もって土砂災害の防止軽減と公共の福祉の増進に寄与することを目的とし、以下の事業を実施している。 ・砂防、地すべり防止及び急傾斜地崩壊防止事業の促進 ・砂防事業等に関する調査研究及び啓発普及 ・講習会、講演会等の開催		① 開催回数(総会)		回	
		② 開催回数(講習会等)		回	
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
講習会等に参加することで、新しい制度等を学ぶ。		① 参加回数(総会)		回	
		② 参加回数(講習会等)		回	
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
総合的防災対策の構築をめざす。 あわせて、危機管理体制の充実をはかる。		政策(章) 4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち			
		施策大(節) 1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします			
		施策中 1 防災対策の充実			
		施策小 3 総合的な防災対策と危機管理体制の充実			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標① 会員数	団体	32	32	32	32	32	—
対象指標②							
活動指標① 開催回数(総会)	回	2	2	3	3	3	
活動指標② 開催回数(講習会等)	回	4	4	3	3	3	
活動指標③							
成果指標① 参加回数(総会)	回	1	1	1	2	2	
成果指標② 参加回数(講習会等)	回	2	2	2	3	3	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③							
事業費 投入人員 正職員	人	0.02	0.02	0.10	0.10	0.10	
任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費 人件費(投入人員*単価)	千円	161	162	811	811	811	
直接事業費	千円	71	57	95	99	99	H30,H31(R元年)協会理事
総事業費	千円	232	219	906	910	910	
財源内訳 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
府支出金	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	232	219	906	910	910	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市内に砂防指定地があり、土砂災害対策が必要であるため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	職員の防災意識が向上してきている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	職員の防災意識を向上させ、総合的防災対策の構築に寄与する。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか。市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	災害対策は公共の関与が不可欠。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	対象や参加負担金が自ずと決まっている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	土砂災害の対策において、他市町村との連携が困難になり、被害が拡大する恐れがある。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	土砂災害対策についての職員の意識が向上している。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	講習会に積極的に参加し、土砂災害についての知識の向上を図っていく必要がある。	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—